

創立80周年記念「アイデアコンテスト」

80th Anniversary Event "Idea Contest"



創立80周年記念の一環として、全従業員を対象とした「アイデアコンテスト」を企画した。

メカトロニクス技術を応用したアイデアや夢の製作を通して、自由な発想による技術開発の土壌づくりと社員の創造力の向上をめざしたイベントである。

イベントの概要と約500件のアイデア応募の中から一部についてここに紹介する。



アイデアコンテスト作品展示会

1. 企画と運営

本コンテストはアイデアコンテスト委員会が企画・実施した。

アイデアコンテスト委員会は主に技術部門の役員で構成され、推進のため次の下部組織を置いた。実行計画を作成し、運営や予備審査を担う実行委員会、実行計画の推進や運営実務を行なう推進委員会、啓発、連絡事項の周知や運営への協力を行なう連絡員などである。

アイデアの募集範囲には、「当社の技術・製品に反映できるもの、あるいはそれらを応用したもの」をA部門、「環境、安全、快適をテーマとしたもの」をB部門、「生活、健康、遊び、夢につながるもの」をC部門として、3つの応募部門を設定した。また、ソフトウェアも募集対象に含めた。

作品の製作にあたり製作補助費を支給し、社内設備や備品も活用できるようにした。

アイデア募集の期間は、2000年3月～5月、作品製作期間は、2000年8月～11月とし、作品展示会を12月に開催した。

審査については、製作事前審査を6月～7月に、作品審査展示会を12月に実施した。

2. 受賞作品の概要

A部門は、「近未来ステアリング装置」、「車両盗難防止システム」、「技術計算ホームページ」などが受賞した。他にも今後、製品に反映可能なものが多く出品された。

B部門については、「段差を乗り越えられる台車」、「スーパー芯出し『四つ目小僧』」、「携帯パワージェネレータ」、「同軸型2段変速機」などすぐに役立つようなものが多く出品された。

C部門については、「Happy Rainbow(虹発生装置)」、「音声認識コンセント」、「ツボ探知器：揉んでココ」、「ハイパーコマ」、「前輪駆動自転車」など夢のある楽しい作品が受賞した。



3. まとめ

アイデアコンテストは、10年前の創立70周年記念でも開催しており今回が2回目で、社員からは好評を得、若いバイタリティー溢れる技術者の創造力を実感した。

限られた製作費のなかで工夫し、製作を進めていくパワーには頼もしくさえ感じられた。

今後も、このようなイベントを企画し、若い技術者の自由な創造力発揮の機会を増やしポテンシャルを高めていきたい。

(アイデアコンテスト委員会事務局)